

健康友の会みみはら2021年11月会員数(世帯数)

会員数	40,221	(前月比) +	166
郵送	9,256	(前月比) +	6
手配り	28,815	(前月比) +	68
協同基金到達額	2,554,346,000円(11/30現在) [前月比 7,867,000減]		
協同基金出資者数	21,102名(11/30現在)		
いのちを守る助け合い募金額	32,478円(11/1~30)		



発行  
健康友の会 みみはら  
本部事務局組織部  
機関紙編集委員会  
〒590-0821  
堺市堺区大仙西町6丁184-2  
Tel.072-244-8061  
Fax.072-244-7860

1部30円



# 2022 謹賀新年



新年号を飾る写真・年賀状の募集に、たくさんお寄せいただきました。新年らしく華やかに紙面を飾っていただき、ありがとうございます。今年もよろしくお願いたします。

健康友の会みみはら 事務局



信貴山朝護孫子寺の福寅  
泉ヶ丘西支部ウォーキング班



富士山

川畑 勝久さん

新年あけましておめでとございます。旧年中は多くの皆さまができました。欠けていく月を



健康友の会 みみはら  
会長 江戸 道子

## みみはらグループと友の会が手を携え 住みよいまちづくりを

私は昨年11月の夜、久しぶりに小学4

んにご協力いただき、ありがとうございました。今年もよろしくお願いたします。地球温暖化による被害が、世界のあちこちで起こっています。世界では、気候危機打開の道を進もうとしている中、日本政府の態度はあやふやで、積極

的に温暖化防止の立場に立っていません。コロナ禍対応さえ不十分なのに、夏場には台風被害、冬場には大雪と、相次ぐ災害に十分な援助もなく放置したままです。

友の会は、設立38年目に入りました。私の友の会活動の原点は、子や孫に平和な社会を残してあげたいという思いと、だれもが安心して住み続けられるまちづくりです。高齢化社会が言われている中、医療・福祉は、国民にとって悪くなるばかり。今こそみみはらグループと友の会が手を携えて、住みよいまちづくりに積極的に取り組む2022年にしたいと思います。



ミニ門松 米澤美恵子さん



安倍文殊院寅年ジャンボ花絵  
井上 喜雄さん



西湊町の親子獅子  
中田 鉄さん



あけましておめでとございます。たまり場の隣に開設した「ちくさ子ども食堂」はこの春、3周年を迎えます。地域、会員さん、ボランティアさん、子ども食堂に来てくれるたくさんの方々を支えられて、ここまで続けることができました。コロナ禍で、今はテイクアウトのみですが、また子ども食堂に子どもたちの笑顔があふれることを願って、一回頑張ってください。2022年も子どもたちと一緒に！

子どもたちの笑顔があふれることを願います。

鳳支部 ちくさ子ども食堂

